

統計メールニュース No.1471 (2022.7.22)

このメールは、配信登録された方に無料で送信しています。

【本日の公表データ】

■令和2年国勢調査 従業地・通学地による人口・就業状態等集計結果
従業地・通学地による人口・就業状態等集計は、全ての調査票を用いて、
従業地・通学地による人口の構成や現在住んでいる市区町村と従業地・通学地の市区町村と
の関係などを集計したものです。

この結果によって、昼間人口や昼夜間人口比率などを把握することができます。

○総人口に占める従業又は通学をする者の割合は、2015年と比べて上昇。
従業地・通学地別にみると、「自市区町村」が37.4%と0.5ポイントの上昇、
「他市区町村」が26.2%と0.7ポイントの上昇と、共に上昇となっている。

○昼夜間人口比率を都道府県別にみると、東京都が119.2と最も高く、
次いで大阪府(104.4)、京都府(102.0)などとなっており、16都府県で昼間人口が夜間人口
を上回っている。
一方、埼玉県が87.6と最も低く、次いで千葉県(88.3)、神奈川県(89.9)などとなっている。

<https://www.stat.go.jp/data/kokusei/2020/index.html>

※上記の各結果数値は不詳補完値による

□労働力調査、家計調査、小売物価統計調査を始めとした統計調査へのご理解・ご協力をお願いします。

「明日のくらしが見えてくる。」(統計調査紹介ムービー)

<https://youtu.be/mY4TF6VE0BU>

□【2022年リニューアル】誰でも無料で学べるオンライン講座「社会人のためのデータサイエンス演習」受講者募集中!

10月4日(火)に開講するデータサイエンス・オンライン講座の受講者を募集中です。
社会人や大学生に向けて、ビジネスに役立つ実践的なデータ分析の手法を分かりやすく解説
しています。是非、御登録ください。

<https://gacco.org/stat-japan2/>

□誰でも無料で学べるオンライン講座「社会人のためのデータサイエンス入門」開講中!
社会人・大学生に、統計学の基礎やデータの見方のほか、公的データの入手・利用方法
の紹介等、データ分析の基本的な知識を分かりやすく解説していますので、是非、御活用
ください。

<https://gacco.org/stat-japan/>

□誰でも無料で学べるオンライン講座「誰でも使える統計オープンデータ」特別開講中！
「社会人のためのデータサイエンス入門」と併せて学習していただくことで、活用の幅が広がります。

是非、御受講ください。

<https://gacco.org/stat-japan3/>

□「統計データ分析コンペティション 2022」で論文募集中です！

高校生、大学生等が統計の有用性を理解し、統計データを適切に活用できるよう、「教育用標準データセット(SSDSE)」を用いた統計データの分析に関するコンペティションを開催しています。

アイデアと解析力を駆使した論文を募集していますので、是非、御応募ください。

<https://www.nstac.go.jp/statcompe/>

【エントリー期間】

令和4年8月10日(水)まで

【論文の提出期限】

大学生・一般の部 令和4年9月1日(木)

高校生の部 令和4年9月9日(金)

配信先の変更・配信中止など

<https://www.stat.go.jp/info/mail/index.html>

※統計データの入手先に関する問い合わせ、統計調査に関する Q&A

<https://www.stat.go.jp/training/toshokan/faq.html>

このメールにお心当たりがない方は、大変お手数ですが下記までご連絡ください。

総務省統計局統計情報利用推進課

stat_m-news@soumu.go.jp